

開催経緯及び海外におけるオークション動向

オークション制度について

オークション制度とは

電波の免許人の選定に際し、競売を実施し、最高価格を入札した者を有資格者とする制度。

(参考)

比較審査方式

複数の申請者がいる場合、免許人としての優劣を比較して、免許を付与する方式

抽選方式

抽選により、電波を割り当てる方式

先願主義

先に申請を行った者に、電波を割り当てる制度

次期電波利用料の見直しに関する基本方針

(平成22年8月30日決定・公表)

(オークション制度関係部分抜粋)

4 その他

(1) 電波利用料の性格

(略)

(2) オークション

- ・ 電波の公平かつ能率的な利用、免許手続きの透明性確保等の観点から、市場原理を活用するオークション導入は十分検討に値するもの
- ・ ただし、オークションの導入は免許人に新たな負担を課すことであり、十分な説明が必要
また、先行事業者との間で競争政策上の問題が生じないよう対象を選定すべき
- ・ このため、オークションの導入について本格的な議論を行い、その必要性・合理性をオークション導入の目的・効果に照らして検証し、国民に示していくべき
- ・ なお、上記2(1)の周波数再編の費用負担についても、できるだけ市場原理の活用ができないか検討を行うべき

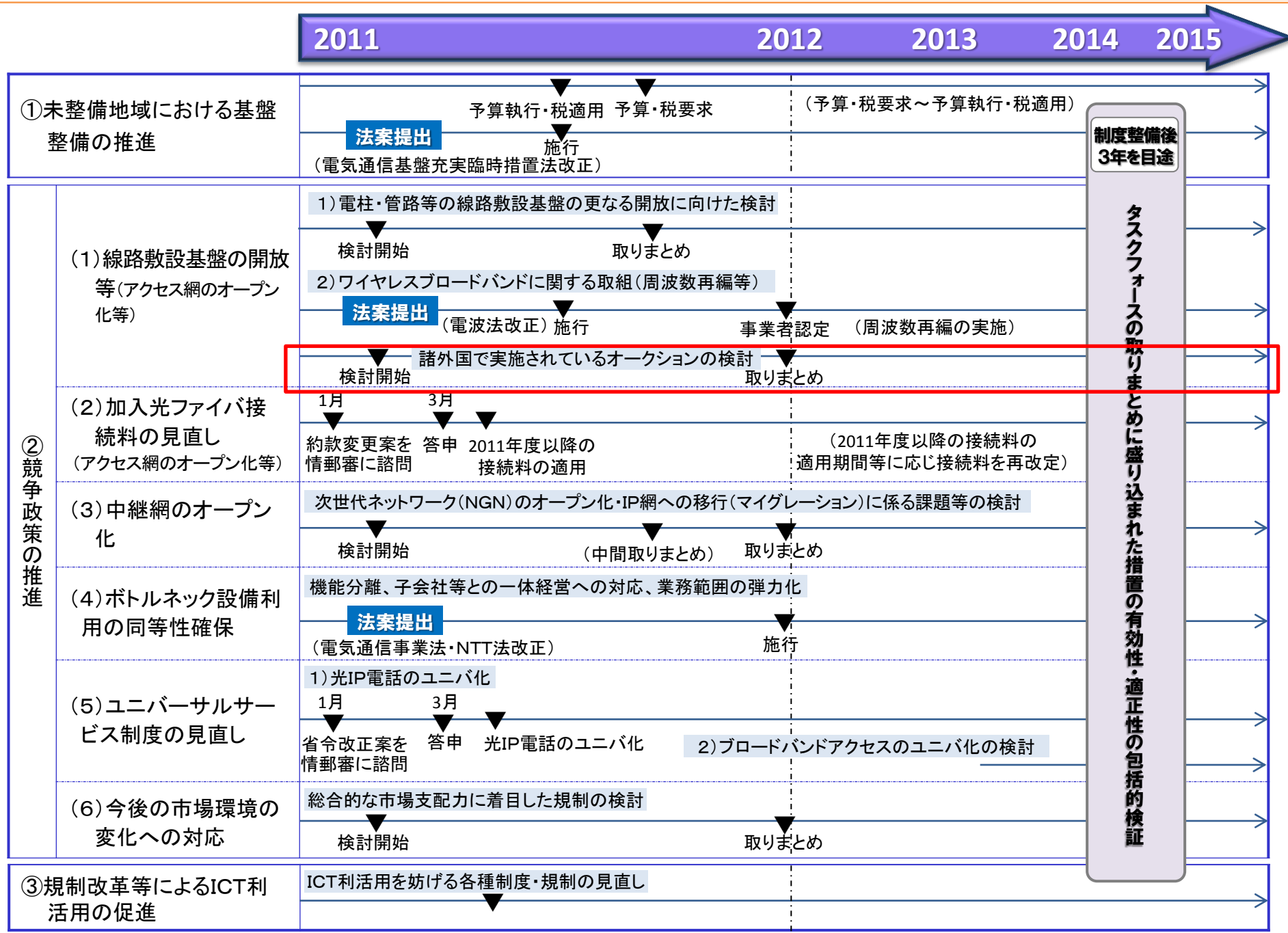
「光の道」構想に関する基本方針

(平成22年12月14日決定・公表)

(オークション制度関係部分抜粋)

- 1 合同部会の最終とりまとめで指摘された事項については、次のとおり進める。
 - ①～③ (略)
 - ④ ワイヤレスブロードバンド事業者による既存の周波数利用者の移行コストの負担に関し、オークションの考え方を取り入れた制度を創設するため、関係法律の改正案を次期通常国会に提出する。【電波法の一部改正】
 - ⑤ 第4世代移動通信システムなど新たな無線システムに関しては、諸外国で実施されているオークションの導入についても、早急に検討の場を設けて議論を進める（新無線システム移行までに関係法律の改正が間に合うように結論を得る）。

「光の道」構想実現に向けた工程表 (平成22年12月24日公表)



主要国におけるオークション実施状況

	オークション制度導入時期	オークション実施例
米国	1993年	・ アナログ放送跡地（第3世代携帯電話等）（2008年実施） →落札額：約1兆9000億円
英国	1998年	・ 第3世代携帯電話（2000年実施） →落札額：約3兆9900億円
フランス	2008年	未実施
ドイツ	1996年	・ 第3世代携帯電話（2000年実施） →落札額：約5兆600億円 ・ アナログ放送跡地等（LTE等）（2010年実施） →落札額：約5000億円
韓国	2010年	未実施

米国におけるオークション

オークション対象

周波数を占有する業務に用いる周波数帯

(例外：①公共安全無線、②アナログから移行するデジタルテレビ放送、③非商業教育用無線及び④公共放送 等)
(実施例)
携帯電話、ページング、固定無線アクセス等

オークション開始（1994年）以来の実施状況

- ◆ 合計実施回数 75回 (2010年3月末までの回数) ◆ 合計落札額 約8兆4000億円
- ◆ 対象免許総数 59,203件

導入の経緯（無線局の免許申請が競合する場合の手続の変遷）

1981年以前

比較聴聞方式 (comparative hearings) による周波数割当て

(問題点) 審査に長期間を要し、未処理案件が積滞



1981年 通信法改正

無差別選択方式 (random selection) を導入

(問題点) ①周波数を適切に利用する能力のない者が免許人に ②二次取引による利益を目的とする投機的免許申請



1993年 通信法改正

オークション方式を導入

700MHz帯オークション

アナログテレビジョン放送が利用している700MHz帯（698～806MHz）について実施。
デジタルテレビジョン放送への移行完了後（2009年6月12日）に利用可能。

- 期間：2008年1月24日から3月18日
- 参加者数：214（ベライゾン・ワイヤレス、AT&T、グーグル等）
- 対象周波数等の状況

ブロック	周波数（周波数幅）	免許数（エリア数）	最低落札価格	落札免許数	落札額
A	698～704MHz及び728～734MHz（6MHz×2）	176	約18億ドル	174	約39億ドル
B	704～710MHz及び734～740MHz（6MHz×2）	734	約14億ドル	728	約91億ドル
C	746～757MHz及び776～787MHz（11MHz×2）	12	約46億ドル	12	約47億ドル
D	758～763MHz及び788～793MHz（5MHz×2）	1	約13億ドル	0	0ドル
E	722～728MHz（6MHz）	176	約9億ドル	176	約13億ドル
合計		1099	約100億ドル	1090	約190億ドル （約1兆8400億円）

※ 為替レートはオークション終了時のものを使用。

- Cブロックに設けられた条件：オープン・プラットフォーム
 - ・合理的なネットワーク管理の条件に従う限り、利用者が自ら選択した端末やアプリケーションを利用可能とすること。
- Dブロックに設けられた条件：公共安全・民間パートナーシップ
 - ・警察・消防等の公共安全ユーザーと民間ユーザーに共用される無線ブロードバンドネットワークを構築すること。
 - ・非常時においては、公共安全業務に優先的に利用させること。
- 免許期間：10年（放送を行う場合は8年）

英国におけるオークション

オークション	実施時期	対象数	落札数	落札額
第3世代携帯電話	2000年3月～4月	5	5	約3兆9900億円
28GHz帯固定無線アクセス（FWA）	2000年11月	42	16	約59億円
28GHz帯固定無線アクセス（FWA）（再オークション）	2001年10月～2002年10月	26	0	0円
3.4GHz帯固定無線アクセス（FWA）	2003年6月	15	15	約14億円
1781.7-1785MHz帯及び1876.7-1880MHz帯のペア周波数 （小電力屋内携帯電話等に利用）	2006年4月	12	12	約8億円
412-414MHz帯及び422-424MHz帯のペア周波数 （業務用自営無線等に利用）	2006年10月	4	4	約3億円
1785-1805MHz帯周波数（北アイルランド） （ブロードバンド無線アクセス（BWA）等に利用）	2007年5月	1	1	約1億円
10, 28, 32及び40GHz帯 （固定無線アクセス（FWA）等に利用）	2008年2月	26	26	約3億円
1452-1492MHz帯（L-Band） （モバイルTV等に利用）	2008年5月	17	17	約18億円

※ 為替レートはオークション終了時のものを使用。

ドイツにおけるオークション

オークション	実施時期	対象数	落札数	落札額
ページング	1996年9月	13	13	約4,000万円
第2世代携帯電話	1999年10月	10	10	約233億円
第3世代携帯電話	2000年7～8月	6	6	約5兆600億円
ブロードバンド無線アクセス（BWA）	2006年12月	112	87	約87億円
電気通信業務用（LTE等）	2010年4～5月	41	41	約4,970億円

※ 為替レートはオークション終了時のものを使用。

OECD諸国におけるオークション制度の導入状況及び実施状況について

○：導入・実施 ×：未導入・未実施 －：不明

	(アジア・太平洋)				(北米・中東)			(欧州)		
国名	日本	韓国	オーストラリア	ニュージーランド	米国	カナダ	メキシコ	英国	仏国	ドイツ
制度導入状況	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施状況	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○

	(欧州)									
国名	アイスランド	アイルランド	イタリア	オーストリア	オランダ	ギリシャ	スイス	スウェーデン	スペイン	スロバキア
制度導入状況	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
実施状況	－	○	○	○	○	○	○	○	－	－

	(欧州)									(中東)
国名	チェコ	デンマーク	ノルウェー	ハンガリー	フィンランド	ベルギー	ポーランド	ポルトガル	ルクセンブルク	トルコ
制度導入状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実施状況	○	○	○	－	○	○	－	○	－	○

・各国規制当局のホームページ・海外記事等から調査

・2009年以降の加盟国(チリ、スロベニア、エストニア、イスラエル)については不明

・なお、OECD諸国以外では、インド、ブラジル、シンガポール、台湾で実施されている模様